

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域住民との交流機会の拡大と定着	<p>地域住民との交流機会をさらに充実させ、地域社会とのつながりを深める。</p> <p>2025年度の取り組みを継続・発展させ、入居者・職員・地域が共に参加できる場を広げる。</p>	<p>1. 地域交流イベントの継続・発展</p> <p>①あいわ喫茶を定期開催し、地域住民が気軽に参加できる場を維持する。</p> <p>②秋祭り・消防訓練等のイベントを年2回以上企画・開催する。</p> <p>③ホームページ・SNS等でイベント情報を発信し、参加者の拡大を図る。</p> <p>2. 地域ボランティアの受け入れ強化</p> <p>①地域ボランティア団体や法人職員や学生などに秋祭りなどイベントの協力を呼びかけ、施設での活動の機会を提供する。</p> <p>②話し相手・趣味活動補助など、ボランティアが活躍できる場面を増やす。</p> <p>3. 地域行事への積極的な参加</p> <p>①神服神社「例大祭」等の地域行事に神輿のかつぎ手としての参加や休憩場所の提供を行い、利用者および家族も地域住民との交流を図る機会を作る。</p> <p>②マイスターサロン「もてきん体操」への参加を継続する。</p> <p>③地域の防災訓練・合同避難訓練に参加する。加えて会場提供等の協力を行う。</p> <p>4. 子どもとの交流促進</p> <p>①あいわ保育園との交流活動を継続・拡充する。</p> <p>②小学校の町めぐり体験学習・学童保育との交流機会を確保する。</p>	12ヶ月

2	6	虐待防止・不適切ケアに関する職員への理解浸透	全職員が虐待防止・不適切ケア防止の知識と実践力を身につけ、外部からも適切な対応が行われていると認識される体制を構築する。	<p>1. 研修・勉強会の充実</p> <p>①倫理・虐待防止研修を年2回以上実施し、具体的事例を用いた演習を取り入れる。</p> <p>②身体拘束廃止委員会(隔月開催)において事例共有・カンファレンスを継続する。</p> <p>③新入職員オリエンテーション時に虐待防止研修を実施する。</p> <p>2. マニュアルの整備と周知</p> <p>①虐待防止マニュアルを年1回以上見直し、最新の法令・通知を反映する。</p> <p>②マニュアルを見やすい場所に掲示し、全職員がいつでも確認できるようにする。</p> <p>3. 外部への見える化</p> <p>①運営推進会議で研修実施状況・委員会活動内容を報告し、透明性を高める。</p> <p>②外部評価・第三者評価の指摘事項を職員全体で共有し、改善状況を記録・報告する。</p>	12ヶ月
3	28 29	食支援体制の強化(嚥下機能低下・食事能力低下への対応)	入居者一人ひとりの食事能力・嚥下機能の変化に対応した食支援体制を整え、安全で楽しい食事環境を継続して提供する。	<p>1. 専門職との連携強化</p> <p>①看護師・管理栄養士・言語聴覚士・歯科医師・訪問診療医との連携を強化し、定期的な嚥下・栄養評価を実施する。</p> <p>②嚥下機能の変化が見られる入居者に対し、速やかに食事形態の見直しとカンファレンスを実施する。</p> <p>2. 楽しい食事環境の継続</p> <p>①調理師による実演イベント(握り寿司・ステーキ等)や季節行事に応じた特別食を継続する。</p> <p>②食前口腔体操・食後の口腔ケアを継続して実施する。</p> <p>③嗜好品の提供や家族からの差し入れの活用など、楽しみのある食支援を継続する。</p> <p>3. 記録・モニタリングの充実</p> <p>①食事量・水分摂取量・食事形態の変更履歴を電子カルテで一元管理し、定期的にモニタリングする。</p> <p>②家族への食事状況の説明を丁寧に行い、不安の早期解消に努める。</p>	12ヶ月

4	24 25	急変・事故発生時および災害時の対応能力の維持・向上	<p>1. 全職員が急変時・事故発生時の対応手順を理解し、適切な行動がとれるようになる。</p> <p>2. 全職員が災害時の対応手順を理解し、BCPに基づく行動が取れるようになる。</p>	<p>1. 緊急時対応訓練の実施 ①心肺蘇生法・AEDの使用方法・転倒転落時の具体的対応手順等について、年1回全職員向け説明会を実施する。 ②搬送時の対応・応急処置をテーマとした実践的研修を継続する。</p> <p>2. 緊急時対応マニュアルの見直しと周知 ①急変時・事故発生時対応マニュアルを年1回以上見直し、全職員へ周知する。 ②火災・夜間想定避難誘導訓練を年2回(近隣消防署への協力依頼)実施する。 ③避難確保計画(水害対応)に基づく訓練を年1回以上実施する。</p> <p>3. BCP(業務継続計画)の運用強化 ①非常食・飲料水・救急セット・懐中電灯等の防災用品を毎月点検し、不足分を速やかに補充する。 ②ラインを活用した職員間緊急連絡網を維持・更新し、掲示板での情報共有を継続する。</p> <p>4. 地域防災との連携 ①地域の防災会議・防災訓練に参加し、地域との協力体制を継続して構築する。 ②高槻市内の防災研修へ参加し、最新の防災知識の習得に努める。</p>	12ヶ月
---	----------	---------------------------	---	--	------

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。